



群馬県中古自動車販売商工組合

◆オークション事業

本組合は、中古車の価格適正化と流通整備を目的として昭和54年に設立し、ユーザーには「JU群馬」の愛称で親しまれている。組合の共同施設として中古車オークション施設を保有し、毎週木曜日にオークションが行われている。取材に訪れた際は、第1620回目のオークションであった。オークション会場は、室内の前面に大きなスクリーンが設置され、パソコンモニターが置かれた机が約700席並ぶ。オークションは11時に始まり、「〇〇号車スタート」のアナウンスを合図に出品車の写真が会場内のスクリーンに映ると、

参加者は、手元のボタンでセリに参加し、20秒足らずで落札価格が決まる。本オークション会場では、年間、約3万台の中古車取引が行われているという。



オークション会場内の様子

◆オークションに向けた準備

オークションに出品される中古車は、オークション当日までに、本組合の検査員が1台1台、丁寧に傷やエンジンの調子等の検査を行い、オークション参加者がセリの参考に使う「出品リスト」にその検査結果が反映される。検査を受けた中古車は、写真撮影した後隣接する約1200台収容可能な駐車スペースに運ばれ出品を待つ。

◆新たな事業展開

オークションの円滑な運営に加え、組合員である販売店を支援するため新たな事業を立ち上げ、組合員に対する組合事業の充実を図っている。その一つが「中古自動車販売士」認定制度の発足。これは販売スタッフの能力の底上げを図るための教育認定制度である。さらに、「JU安心保証」という中古車保証制度を立ち上げると共に、

車の急なトラブルに対応する「JU安心ダイヤル」というロードサービス制度も開始した。組合では、こうしたサービスを組合員に利用してもらうことで、お客様のトラブル低減やユーザーの信頼性向上が図られ、販売店が既存ユーザーと継続的に付き合っていくビジネスモデルへと転換できるよう後押ししている。



点検作業を行う検査員

こぼれ話

参加者はオークション会場で長時間過ごすことになるため、施設内には食堂や全身マッサージサービスが受けられるスペースが用意されている。最近では、外国人の来場者が増えたことで、外部の飲食店に依頼しエスニック風のお弁当の販売やイスラム教徒が礼拝する場所も確保している。このお弁当を楽しむに来場する人も多く、早い時間に売り切れてしまう程の人気メニューとなっている。

組合の概要

○所在地	高崎市中大類町118-1
○代表理事	神保文明
○出資金	168,870千円
○組合員数	118名
○主な事業	共同販売事業、共同宣伝・販売促進事業、研究開発事業
○成立年月日	昭和54年1月22日
○ホームページ	http://ju-gunma.or.jp/cars